

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY研究実施
体制整備

B10 学内研究設備の共用システムの構築

研究大学強化促進事業



OPEN 2021

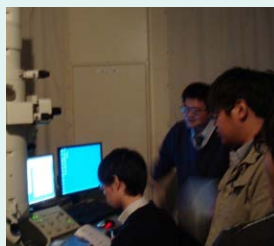
学内研究設備の共用システムの構築のためのリユース支援事業として、より効率的な研究推進を行うため科学機器リノベーション・工作支援センターの協力のもと全学で共同利用可能な設備・機器の選定、整備、登録を進めている。



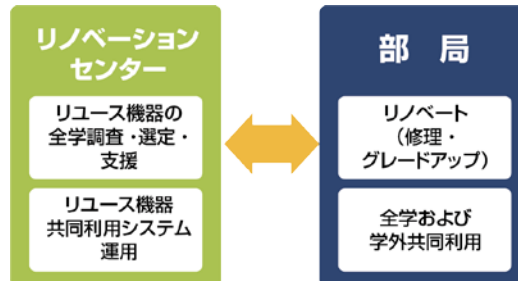
本事業のポイント

リユースに関するガイドラインの設定

- 汎用性、有用性があり、全学共同利用設備・機器としての利用が見込める機器であること。
- 修理等の後はリユース機器として登録し、全学共同利用に供する運転時間を確保すること。
- 共同利用の推進のため、講習会等の開催に協力すること。



リユース事業の仕組みの構築



取組実績

H28	1件（電界放出形走査電子顕微鏡のソフトプラズマエッチング装置）
H27	2件（高周波プラズマ発光分析装置 等）
H26	6件（多目的X線回折装置、レーザーラマン分光計等）
H25	8件（核磁気共鳴装置、高感度3Dプリンタ 等）



得られた成果

材料科学研究で最も汎用される装置の一つである「多目的X線回折装置」は、共用化の効果を示す一例。各機器は、科学機器リノベーション・工作支援センターによる共用への行き届いた支援により、学内外の研究者等に幅広く共用されている。また各機器についての講習会を実施しており、装置に不慣れな若手、女性、外国人研究者の研究実施に寄与している。



多目的X線回折装置



ICP発光分析装置

電子スピン共鳴装置



光電子分光装置

(平成30年3月末日更新)